

H30年11月11日(日)

テーマ：明日から使える摂食嚥下のテクニック

講師：中家まゆみ先生 海南医療センター

摂食・嚥下障害看護認定看護師

ファシリテーター：橋本真由美先生 和歌山労災病院

宮田栄里子先生 紀南病院

杉山智子先生 済生会有田病院

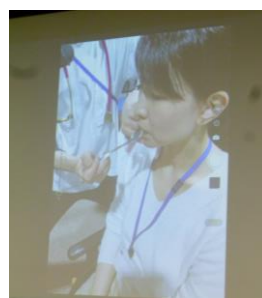
速水久美先生 那智勝浦町立温泉病院

古川好美先生 国保日高総合病院

場所：看護研修センター

参加者：50名

午前中は講義。午後からは机からベッドに学習の場を変更して演習を行う。



デモンストレーションを動画でとりながら、スクリーンに映し説明してくれる。
デモが見えない場所の人にもわかりやすく、細かいところまで確認しながら学習



安楽な体位を体験しましょう！
足元には細やかな工夫が・・・

スプーンの大きさにも工夫が！



H30年11月12日(月)

テーマ：看護場面に活かすリハビリのコツと理論

講師：小池有美先生 和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
理学療法士

寺村健三先生 和歌山県立医科大学附属病院
作業療法士

宮崎友理先生 和歌山県立医科大学附属病院
言語聴覚士

場所：看護研修センター

参加者：46名

3人の先生がそれぞれの分野で講義と演習を行ってくれた。



杖の合せ方・つき方はこのようにします。

リハビリの様子をビデオで説明。
早期ADLの改善のために抗重力姿勢を。
多くの効果があるそうです。



ハッピーターンはおやつではなく、姿勢によって
嚥下がどう変わるのかを体験中！

研修終了後に非常に質問が多く、先生がそれぞれ実演しながら
答えてくれた。

H30年11月15日(木)

テーマ：現場で活かせる予防的・治療的スキンケア

講師：藤本由美子先生 和歌山県立医科大学保健看護学部
特任教授
皮膚・排泄ケア認定看護師

場所：看護研修センター

参加者：109名

皮膚の構造から褥瘡予防・ケア、失禁関連の皮膚障害の予防・ケアなど幅広く説明してくれた。



非常に多くの方が受講してくれた。

洗浄と保温で皮膚バリア機能を維持できます！



たくさんの資料を準備してくれて、とてもわかりやすいスライドだった。

受講生からは、本日の研修はすぐに現場で活かします。資料は宝物です！との声があった。

H30年11月17日(土)

テーマ：手術室看護師必見！
周手術期の看護の実際

講師：和田亜希先生 紀南病院
手術室看護認定看護師

場所：看護研修センター

参加者：35名

手術の少ない土曜日に研修を実施。

今回は、手術室看護師対象で術前訪問から術後訪問までの内容。



手術室勤務ということで、いつもの研修よりはるかに男性の受講生が多かった。

術後の嘔気・嘔吐は80%で発生するそうです。
そこで、嘔気に効果のある「ツボ」についてもレクチャーしてくれた。
受講生全員で、「ここを押しましょう」と実演！

最後は挙手をしての質問。
いつもの研修では、ほとんど見られない光景だった。



H30年11月25日(日)

テーマ：誰が見てもわかる看護記録！

－「看護必要度」の基準を満たす－

講師：岩渕泰子先生 社会福祉法人聖母会 聖母病院
副院長

場所：看護研修センター

参加者：93名

看護記録の書き方ということで、毎日の業務で欠かせない内容だった。
先生の所属である聖母病院は、東京都の選定歴史建造物に指定されており、
それだけにいろいろと制限があって
難しいことも多々あるようです。



三連休の最終日なのに、
多くの方が受講してくれた。



今回の研修内容で、看護必要度を中心にする研修だと思った。
との意見および感想があった。
これについては、企画した私たちの反省です。
来年度はもっとわかりやすいテーマ・内容をお示しできるように
したいと思います。